No.1139 2020年(令和2年) 2月1日発行

広報 浦安市 うらやす

主な内容

中央図書館リニューアルオープン ほか	2面
市民税・県民税の申告書の提出は3月16日(月)まで	3面
うらやすNPOウィーク2020	9面
令和2年度職員募集	10・11面

発行／浦安市
所在／〒279-8501 千葉県浦安市猫実 一丁目1番1号
編集／企画部広聴広報課
☎047・351・1111(代表)
http://www.city.urayasu.lg.jp

各記事に掲載しているIDを確認し、市ホームページ上の「広報ページID検索」に入力すると、検索結果が出ます。これにより、記事を探す手間を省けます

阿部慎之助さん 浦安市初の市民栄誉賞



本市出身で、昨年現役を引退し現在は読売巨人軍二軍監督の阿部慎之助さんに、浦安市初の市民栄誉賞を授与しました。

今回の受賞は、プロ野球選手として数々のタイトルを獲得するなど球史に残る活躍をされ、日本野球界の発展に大きく貢献されたことによるものです。

1月27日、市役所で行われた表彰式では、内田市長が19年の選手生活とその間に成し遂げた輝かしい功績をたたえ、表彰状と記念品を手渡しました。

阿部さんは、受賞の喜びとともに今後の抱負を語りました。

読売巨人軍 阿部慎之助二軍監督のコメント

生まれ育った浦安市から、このような素晴らしい賞をいただけることになり、大変うれしく、誇りに思います。これまで選手として浦安市民の方々から温かい声援をいただき、心強く思っていました。今年からジャイアンツの二軍監督として、新しい野球人生が始まりますが、今後も賞の名に恥じないように精進していきます。

問 総務課 ☎712・6114

ID 1028413

第26回 市長さんぽ 高次脳機能障がいへの支援

寒い日が続いていますが、暦の上では間もなく立春。梅の香とともに春の足音が近づいています。

昨年4月、高洲七丁目にタムス浦安病院（千葉大学病院浦安リハビリテーション教育センター）が開院しました。


タムス浦安病院

これまで市外の病院に依存していた「回復期リハビリテーション」が市内で受けられるようになり、急性期のリハビリ、回復期のリハビリを経て、自宅に戻るまでの橋渡しが市内で完結できるようになりました。

また、この病院には、千葉県内でも数少ない高次脳機能障がいの相談窓口が設置されています。

高次脳機能障がいとは、脳卒中や事故などによって脳に障がいが残り、日常生活に支障をきたすものです。外見からはなかなかわかりにくいため、本人や家族でも病気の認識がない場合が多く、「隠れた障がい」と言われています。

症状は損傷を受けた部位によってさまざまですが、言葉が出にくくなる、物事が理解できない、記憶力が衰えるなど、病気以前には普通に出来ていたことが出来なくなり、日常生活を営む上で大きな障壁となります。

この相談窓口では、医師や臨床心理士などによる専門的な診療に加え、ドライビングシミュレーターなどの機器を使用した社会復帰のための支援が行われています。

こうした市内病院の相談・支援体制の充実によって、市民の安心を支える体制が整備されてきていると感じます。

他方、市としても、来年度から脳ドック費用の助成制度をスタートする予定です。

病気の早期発見体制のさらなる充実に加え、もし病気になった場合にもこれまでどおりの日常生活を取り戻せるような支援体制づくりを、引き続き進めてまいります。

浦安市長 内田 悦嗣